

も どうし

議会だより

No.20

平成25年10月10日発行
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



いっしょうけんめいれんしゅうしたよ!!

- 9月定例会（おもな補正予算） P 2
- 一般質問6人（これが聞きたい） P 6～11
- あの一般質問は・今（どうする国文祭は） P14
- 紹介／がんばる人紹介 P15～16

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

9月 定例会

9月10日から20日までの会期中、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正、24年度決算認定などを審議し、原案どおり可決しました。6人の議員が一般質問をし、村政の考えを聞きました。

おもな補正予算

● 一般会計補正額…8,309万円を追加

おもな財源

国庫支出金……………2,629万円
 県支出金……………345万円
 過疎対策事業費(借金)……………2,150万円

おもな使いみち

鳥獣害防止施設設置工事(笹久根、大室指) 864万円
 水源の森テラス、水源橋補修……………336万円
 山林火災用、防火水槽設置(林間広場) 1,450万円

視点

☆山林火災に対処するのに、ヘリコプターからの放水が重要になり、貯水が必要となります。全議員から早い対処を望むとの意見ができました。

☆特別会計補正予算は、24年度の決算にともなう、事項が多くありました。金額の多いところでは、白井平、長畑第一給水区簡易水道の修繕が560万円ほど補正されました。

補正予算とは

事業や計画の変更等により修正するのが補正予算です。

議案等の審議結果

★全議員が議案に賛成、認定及び同意いたしました。

議案等番号	件名	審議結果
報告第2号	平成24年度決算に基づく道志村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
議案第47号	道志村子ども・子育て会議条例	原案可決
議案第48号	平成25年度道志村一般会計補正予算(第2回)	原案可決
議案第49号	平成25年度道志村国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決
議案第50号	平成25年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決
議案第51号	平成25年度道志村介護保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決
議案第52号	平成25年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)	原案可決
認定第1号	平成24年度道志村一般会計決算の認定について	原案可決
認定第2号	平成24年度道志村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案可決
認定第3号	平成24年度道志村国民健康保険診療所特別会計決算の認定について	認定
認定第4号	平成24年度道志村簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定
認定第5号	平成24年度道志村観光施設等事業特別会計決算の認定について	認定
認定第6号	平成24年度道志村介護保険特別会計決算の認定について	認定
認定第7号	平成24年度道志村介護保険サービス事業特別会計決算の認定について	認定
認定第8号	平成24年度道志村浄化槽事業特別会計決算の認定について	認定
認定第9号	平成24年度道志村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
請願第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	原案可決
発議第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	原案可決
発議第2号	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書	原案可決
発議第3号	道州制導入に断固反対する意見書	原案可決



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 道志小、中学校校舎耐震化について

- 道志小、中学校校舎検討委員会は、耐震補強か、建て替え等について結論がでたのか

A 学校校舎検討委員会の結論は建て替えする答申を決定しました。

議員の意見

大きな地震が、いつきてもおかしくないと言われている時期です。安心できる校舎で早めに勉強させたいと思います。

Q 有害鳥獣防止ネットの進捗状況について

- 現在工事は川原畑永見寺裏迄できているがその先はどこまで進むのか

A 中山間事業にて25年度予算でやまゆりセンター裏までを行う予定

Q 役場職員健康助成事業について

- 組合員の疾病予防対策事業の一環で人間ドック助成事業を行っているが、受診率はどうか

A 24年度は87,2%です。職員の健康管理、職務遂行のために100%を目指します

Q 防災施設非常電源整備事業について

- やまゆりセンター、診療所は設置済みで、今年は道の駅を予定しているが道志の湯もボイラー等を使用する為、早期設置すべきと思うが

A 各避難所に指定されている公共施設等も含め順次整備を行う予定

どうつかわれたか

会計(8会計の合計) 8億912万円

平成24年度 一般会計の決算

- 歳入(はいつてくるおかね) … 21億9168万円
- 歳出(どうつかわれたか) …… 20億7968万円
- 繰越金(つぎのとしへひきつぐおかね) 3015万円
- 実質収支(のこったおかね) …………… 8185万円

平成24年度 特別会計の決算

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	2億7390万円	2億7339万円
国民健康保険診療所	1億898万円	1億898万円
簡易水道事業	8443万円	8423万円
観光施設等	14万円	14万円
介護保険	1億8490万円	1億8033万円
介護サービス事業	372万円	372万円
浄化槽事業	1億1662万円	1億1661万円
後期高齢者医療	4172万円	4172万円
合計	8億1441万円	8億912万円

平成24年度
決算認定

29億円が

【一般会計 20億7960万円・特別

【一般会計の目的別歳出】

●総務費

24年度 3億 452万円
23年度 3億 257万円

●土木費

24年度 2億 1942万円
23年度 3億 2117万円

★ 村道の新設改良費の減少

●公債費(借金の支払い)

24年度 3億 1145万円
23年度 1億 9995万円

★ 過疎債の返済金の増加

●消防費

24年度 2億 4013万円
23年度 1億 6879万円

★ 退職に伴う支払金・無停電装置の設置

●災害復旧費

24年度 1733万円
23年度 3304万円

★ 23年度台風12号、15号による災害復旧費

●農林水産業・商工費

24年度 3億 391万円
23年度 4億 6295万円

★ 23年度は木質バイオマスボイラー整備及び道志の湯改修工事含む。

●民生費

24年度 2億 3835万円
23年度 2億 3527万円

●教育費

24年度 1億 8957万円
23年度 1億 6146万円

●議会費

24年度 4294万円
23年度 4660万円

●衛生費

24年度 9302万円
23年度 9354万円

●諸支出金

24年度 1億 1904万円
23年度 6695万円

★ 積立金の増加

監査の結果 各課における事務、事業執行状況については、おおむね適正に処理されているが、一部見直しや改善の検討が必要な事項が認められた。また、監査の際に見受けられた事務処理上留意すべき軽微な事項については、担当職員に対して改善または検討を要望したので記述を省略した。本定期監査において改善を要するものと判断した事項は、当該事項について措置を講じられたときは、地方自治法第199条第12項の規定に基づき、その旨を監査委員に通知されたい。

Q 観光振興 今後はどうするの



いけや たかあき
池谷高明 議員

池谷

観光振興について今後どのように具体的に進めていく考えか。

A 観光協会及び観光事業者と連携

村長

今後は観光客のニーズを把握する中で、県及び近隣市町村との観光振興事業の推進、観光施設活用方法、観光資源の新たな活用方法等の検討を行い、観光協会・観光事業者と連携し、観光を通じた交流人口の拡大を図っていきます。

また、「道志村官民連携観光マネジメント戦略計画」に基づき観光への取り組みを行い、観光振興事業をなお一層進めてまいります。



観光の拠点「道の駅どうし」

池谷

Q 特別養護老人ホームのメリット

村長が掲げられた特別養護老人ホームの設立により、考えられるメリットは具体的にどのようなことか。また、設立に伴うデメリットは発生するのか。

A 地域密着型特別養護老人ホームを整備

村長

特別養護老人ホームについてのご質問ですが、道志村も高齢化率が全国平均より進行しているという状況です。村内には、75才以上の方々も320人以上

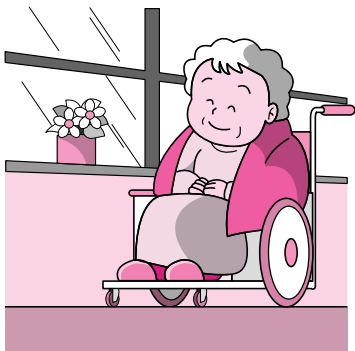
おります。また、他の市町村の福祉施設を利用していただく方も数多くおられ、村内に福祉施設が必要だと村民の皆さんの声も多数あります。

村に施設の整備を考えると、必ず国・県の許可が得られますが、道志村で許可を得うる可能な施設は、地域密着型特別養護老人ホームです。その施設は最高29床と法律で定められており、人口の少ない本村で対応するには丁度良い規模のもの

考えられます。設立と経営は、民間を活用し、現在福祉関係に携わる事業所の中から村が公募し、決定したいと考えております。

メリットにつきましては、村民の皆さんが、施設があることで、安心して老後を過ごせることだと思います。また、福祉の充実と雇用拡大による地域の活性化が同時に図れるものと考えております。

「再質問あり」



Q 防災トンネルの 構想は



山口 力 議員
やまぐち ちから

山口

防災トンネルの建設について伺います。

普通のトンネルでは、なかなか予算付けが出来ないと聞いていますが、防災トンネルとして造るという着眼点には敬服しました。

「道志から都留」へのアクセス向上は、本当にすばらしいことだと思います。

現在、道志村では(仮称)大渡・野原・月夜野トンネルの基本設計が終わり、平成31年には、その完成が見込まれています。

そこに、今回の防災トンネルが4年間程で完成したら、本当にすばらしい村になっていくことと思います。

そこで、防災トンネルの建設の実現に向けての構想についてお聞かせ下さい。

A 村の活性化のため 防災トンネル を推進

村長

山口議員の質問のとおり、先の村長選挙では、村民の皆さんに暮らしの安心安全のために、道志く都留間の防災トンネル建設を実現したいと訴えました。

私の政治姿勢は、村の皆さんが豊かな生活を続けるため、将来に向けて、村がいま何を必要とするかを探り、前向きにその実現に向けて努力する考え方であります。道志く都留線の道路を新たにバイパス的な考えで建設できたら、実現できたら、村が色々な面で一変し、活性化すると確信しております。このことをどうしても実現したいと考えているとき、国、県への対応をどうするかとい

うことが問題かと思えます。

国は、いま、政権も変わり、政策の中で「国土強靱化対策」を推進しています。その予算が、トンネル建設に認めていただけるものと考えております。

日本の国土でも、かつては考えられないような災害が次々と起こっています。

この防災対策は今後ますます重要な課題になると思いますが、大変だと思えます。世界文化遺産となった富士山周辺地域も噴火に備える必要があり、国家的規模で対策を講じなければなりません。本村においても災害が発生すれば、けが人や病人も多発します。この方々を短い時間で医療機関に搬送するため、また、陸の孤島化を防ぐためにも防災トンネ

ルは必要なものと考えます。

私の私見ですが、これがトンネル実現のための構想でございます。

「再質問あり」



道坂トンネルを下げて建設を

Q 災害時の避難所の安全確保は



でわ かずとし
出羽和平 議員

出羽

土砂災害や地震等で被害を受ける危険性のある施設の安全確保は。

A 7カ所の避難所が土砂災害の警戒区域内に。建物は耐震診断の結果により判断

総務課長

道志村地域防災計画において避難所として指定しているのは14施設です。

土砂災害の警戒区域内にあるのは、道志小学校校舎および体育館保育所、やまゆりセンター、唐沢体育館、道の駅、善之木コミュニティセンターの7カ所となっております。

耐震性については、耐震基準改正以前に建設された月夜野公民館は、基準を満たしていないものと思われます。道志中学校校舎については、耐震診断により、揺



神地より西にヘリポートを

れの方向によっては、倒壊、崩壊の恐れがあるという結果が出ています。

土砂災害防止に対しては、避難所周りの砂防、治山工事による安全性の確保について、山梨県に働き掛けていきたいと考えます。

また、耐震化については、小中学校校舎は検討委員会により対応策を協議しています。

中央公民館、唐沢、善之木両体育館の3施設については、今年度耐震診断を実施し、その結果に応じて改修などの措置を検討する必要があります。

出羽

Q ヘリポートの設置について

A 神地より以西に設置を検討

村長

地震や台風等による豪雨による大規模災害時に使用するヘリコプター臨時離着陸場は村内に4カ所あります。

ドクターヘリの利用状況は、昨年4月から本年8月までの間、ドクターヘリを19件要請し、その内18件は大室指ヘリポートを利用しました。

散水等の必要がなく使用できる専用ヘリポートについて、神地より西への必要性は村としても、喫緊の課題としてとらえています。

出羽

Q 防災倉庫の非常食の管理は

A 非常食の交換時期を統一した

総務課長

現在、村内には防災備蓄倉庫が、月夜野消防団詰所、みなもと体験館、道志小学校、役場倉庫、道志中学校、やまゆりセンター、道の駅、善之木コミュニティ



備蓄倉庫の非常食交換は定期的に

センターの8カ所に発電機などの資機材等の他に非常食が保管されています。

備蓄倉庫内の非常食の交換は時期を統一したことにより、管理が容易となりましたが、より分かりやすい台帳に整備するとともに、都留市消防署道志出張所、道志村消防団等の関係者と連携を密にし、備蓄品の保管、管理をしていきます。

Q 今後の村政運営は



すぎもと ひであき 議員
杉本 秀明

杉本

今 道志村は少子高齢化や、雇用問題、若者の定住問題などたくさん、問題をかかえている。

今後どのような村政運営を考えておられるかお聞き致します。

A 「福祉村構想」で
村長

議員のご質問が道志村の将来にとって最も重要な政策課題であり、私としまして、この課題にしっかりと取り組むみたいと考えております。

私の政策の柱の中に、道志村を「福祉村」にしたい構想があります。

「福祉村構想」では、村内にサービス付き高齢者住宅などを誘致し



サービス付き高齢者住宅を誘致

て、福祉関連事業を村の産業として、雇用を創出し、定住人口を増やすことが目的です。また、先の質問で「防災トンネルの実現」に向けての考えを、お答えをしました。が、両施策が実現すれば、村の経済や教育環境も好転し、定住人口が増加するものと確信しております。

杉本

Q 国文祭の内容は

本年第28回国民文化祭が当県で開かれています。ですが、本村はどんな内容で行うのかお聞き致します。

A 11月10日までの
9日間で開催

教育長

道志村では、期日を11月2日土曜日から11月10日の日曜日までの9日間で、「ふるさと生活文化フェスティバル」と題しまして開催する予定です。

教育委員会と役場・それに観光協会と協力をいたいただく中で、従来の「やまゆりセンターまつり」の開催期間中に、やまゆりセンター・みなもと体験館・道の駅どうしなど、それぞれ各会場ごとに連

「再質問あり」

携をとりながら、実施の予定です。



やまゆりセンターまつりを中心に

Q 富士山世界文化遺産 指定後の影響は



やまぐちひろやす
山口博康 議員

山口

最近の交通状況は、7・8月の2ヶ月間は、ウィークデーの交通量も多いと感じております。

文化遺産指定の影響ではないか、交通量の比較をお知らせください。

2・3年前と比較し、「道志の湯」と合わせて、お知らせください。村内の入込客数についても、推定してください。

A 更なる周知活動と新たなイベントの構築で対処する

産業振興課長

1点目の交通量の比較については毎年5月・8月・11月の年3回を実施しています。

本年度、5月は3日及び4日に調査を実施

し、それぞれ前年比112%及び119%でありました。8月は13日・14日・15日に調査を実施しました。

データづくりをしたいと思います。なお11月も調査を実施したいと考えています。2点目の道の駅どうしにつきましては、平成22年6月より「(株)どうし」の指定管理運営となり利用者数71万8



役場前での交通指導

千人、売上金額3億903万円でありました。平成23年度の利用者数は71万5千人、売上金額は3億1400万円であり売上金額について若干の伸びが見られました。

平成24年度の利用者数は73万8千人、売上金額は3億2920万円と売上金額について過去最高の数値となりました。

本年度は、4月から7月までの実績について前年に対し各月103%〜109%と好調な伸び率となっております。

次に、「道志の湯」は、村直営により平成22年度は利用者数3万8千人、売上金額3544万円でありました。平成24年度より「(株)どうし」の指定管理運営となり、利用者数5万8千人、売上金額6

377万円となりリニューアルオープン直後のため大幅な増額となっております。

しかし、本年度については、4月〜7月までの実績は対前年比69%〜100%と低迷しております。

また、村内入込客数につきましては、平成24年度の実績として村内入込客総数101万2千人であり、本年度の村内入込客総数については、106万2千人を見込んでいます。

「再質問あり」

Q 国道413号線 危険個所の改修は



おさだ たつよし
長田達義 議員

長田

国道413号の和出村地区の、岩瀬・大久保地区への村道入口と国道の拡幅改良についてお尋ね致します。
昨年の6月定例会でも質問しましたが、人身事故や物損事故が非常に多い所であり、キスミー前の右折ラインや池之原橋の一方通行の解消など併せて考えて頂きたいと思いません。改めて新村長の考えをお聞かせ下さい

A 関係機関と検討して対処します

村長

国道413号につきましては、多くの改良箇所等確認し、山梨県への改良要望を行って来た経緯があります。本年も、9月6日に議長、建設厚生常任委員長と共に富士・東部建設事務所 吉田支所長を訪ね要望書の提出とお願いをしたところでございます。



和出村地区・村道入口

今回の要望書におきましても、議員ご指摘の箇所も入っておりまして、山梨県も確認済みでございます。

また、池之原橋の件につきまして、右折ラインの必要性は認識しておりますが、土地確保に十分の協議検討が必要であり、中学校が避難所と位置づけられていることから、防災面からの池之原橋の構造変更等も視野に入れながら、関係機関と検討をしていきたいと考えています。

長田

Q 指定管理の見直しはどのように

今回の村長選挙のチラシの中に、「道の駅どうし」をはじめとする村内施設の指定管理の方法の見直しと書いてありましたが、どのよ

うに変えるのかをお尋ねします。

A 見直しは考えていません

村長

指定管理につきましては、道志村の公の施設指定管理者募集要項により募集し、条例等の基準に照らし総合的に審査し、最も適切と認める法人等を指定管

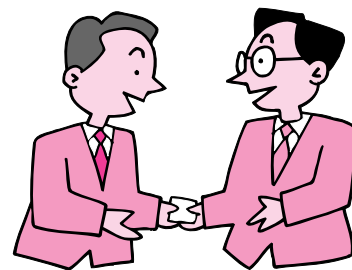
理者の候補者として選定します。
現在、指定管理につきましては、観光施設等福祉施設を含め12の施設につき管理運営をお願いしているところでございますが、議員のご質問に対しまして、見直しは考えておりません。

「再質問あり」



指定管理 道の駅どうし

動 報 告



議会基本条例を勉強

議会運営委員長 8月29～30日



東吾妻町研修会場

群馬県東吾妻町議会、八ッ場ダム現地視察に参加しました。議会基本条例の経過の説明を聞きました。一門一答制の話しや、議会が議会報告会を5会場で開催する事なども伺いました。

八ッ場ダム現地視察では、昭和42年から実施調査が始まり、現在では本工事を残して、大部分が完成しています。

総工事費は、4,600億円です。中止表明から建設継続になりましたが、早期の完成を願うものです。

議会運営委員長 長田 達義

議会だよりの編集を学んで

広報常任委員会 9月30～10月1日

次回うまくなっているか！

東京砂防会館にて、全国町村議会広報研修会に参加しました。元身延町議会議員で、議会だよりの創設者である深沢先生の講義も有りました。

全国の町村議会広報誌を検証し、良いところ、悪いところの勉強会もしました。

この研修を今後の議会だより編集に活かして行きたいと思います。

広報常任委員 佐藤 定三



400人以上が参加

峠にゴミがいっぱい！

9月19日

9月19日午後から議員全員で2班に分かれて、山伏峠と道坂峠の清掃作業を行いました。

国道及び県道の斜面に入ると、缶やペットボトル、不燃物などがたくさん捨てられていました。

皆さんゴミは捨てないで持ち帰りましょう。



清掃が終わりゴミ整理

議 会 活

源流と下流の関係を考える

全議員参加 7月6日

利根川源流の町群馬県「みなかみ町」において、全国13町村の上流（源流）域による全国源流サミットに行政と議会に参加しました。各地の物産展もあり、当村も数点の品を展示即売してきました。

講演では源流域が国土保全、環境保全、の最前線であり、広くその重要性が指摘されました。当村においても森林の大切さや、管理の難しさを考えさせられました。



サミット会場

地方自治を学ぶ

全議員参加 7月16日



研修会場

山中湖村議会主催の議会議員研修会に参加してきました。テーマは「自治を担う議会と議員の役割と課題」で、山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授による講演でした。

各地方のいろいろな議会運営の問題点や検討を紹介しながら、我々に理解しやすく説明していただきました。

これからも、調査・研究し、村民の皆様と共により良い村づくりを進めていきます。

危険個所の要望をする

建設厚生常任委員会 9月6日

5月10日に、渡辺英機県議・県建設事務所と役場・議会共々で村内の危険個所調査をした結果、文章で提出するよう依頼されました。そのため、12カ所を9月6日に山梨県建設事務所に提出してきました。その内、数カ所については検討されているという回答をいただきました。



要望書提出



あの一般質問は今...

平成24年12月定例会

質問

どうする

国民文化祭は

答弁

伝統文化・食文化・生活文化の三部門を柱で「故郷生活文化フェスティバル」と題して開きます。

平成24年6月定例会

質問

上中山(三ヶ瀬)地域の水路改修は

答弁

※農村地域防災減災事業において事業実施となります。

その結果 **今は**

D-1 グランプリ (昨年)



やまゆりセンターにて「芸術文化」の発表(11月2～10日)、道の駅どうしにて「食文化」(11月2・3日にD1グランプリ)を開催し、みなもと体験館にて「生活文化」の体験(11月2・3・9・10日)を行います。



三ヶ瀬水路改修予定地

農村地域防災減災事業が決定し、10月半ば頃より測量に入ります。測量に入って地権者に説明後、事業実施となります。

議会の考え

大勢の皆様にも国文祭を楽しんでもらいたい。

道路・水路の整備をして、村民が安全・安心な暮らしができるように。

※農村地域防災減災事業とは、老朽化した施設等の改修工事を行い、地域住民の安全を確保する事業



早期発見に 健診のすすめ

会長 佐藤 美恵さん

紹
しょうかい
介

健康づくり推進委員会

私達、健康づくり推進委員27人は道志村より委嘱を受け、年2回の健診時には各家庭に伺い健診の説明、推進を行なっています。

道志村は郡内地域においては健診の受診率が高く、健康に対する意識が高い事が考えられます。

その一方で、ここ数年のデータを見ると、道志村は一人当たりの年間受診回数は山梨県の平均を下回ってはいるものの、一人当たりの受診医療費は年々多くなっている事から、受診者の状態が重症化している事が考えられるとの事です。

「健康は自分が自分に送る事の出来る最高の贈り物である」という言葉があります。毎日の生活の中でのちょっとした心がけを持つことによって、自らの健康を保ち、病気を未然に防ぐことが出来るという事ではないでしょうか。

そうは言っても体の中の様子までは把握することは出来ません。そこで、年に一

度は、健康診断を受けていただきたいのです。これも健康に過ごす為に自分で出来る事の一つではないでしょうか。

自分が健康であることは、家族にとっても幸せなことです。健診を受けることにより隠れている病気も発見されることがあります。「健診で病気が見つかり、早期の治療を受け、大事に至らなかった」という話を何度も聞いたことがあります。

また、毎年受診することにより健診項目数値の変化を知ることができ、そこから予防出来ることも見えてきます。「健康でありたい」と誰もが願います。高齢化が進む現代、健康に年を重ねたいものです。

来年の春、推進委員が皆様のご家庭にまたお伺いいたしますので、よろしくお願ひ致します。

微力ではありますが、皆様のお役にたてればと、委員一同思っております。

今後ともご協力をお願い致します。



健診者を増やそう

がんばる人紹介

消防団の歴史と伝統

5月に発生した、白井平地域林野火災の際には、昼間の時間帯にも関わらず、村内外に勤務していた100名を超える消防団員、建設業組合、炊き出しをして頂きました地域の皆様方、関係各位のご協力により早期に鎮圧できましたことを心より御礼申し上げます。

私達消防団は、五年前より秋季訓練として、消防署職員の指導を受け、林野火災を想定し、防災ヘリコプターへの給水訓練や、可搬式ポンプの中継訓練、放水訓練等を行ってまいりました、その結果が今回の林野火災に生かされたと思っております。今回の火災による課題を検討し、今後も充実した訓練を行い一丁有事に備え、精進していきたいと思っております。



道志村消防団
団長 山口 栄一さん



昨今、全国的に消防団員が減少しており、道志村消防団が抱える一番大きな悩みでもあります。私達も団員確保に努め、自分達の村は自分達で守るといふ消防団の歴史と伝統を後世に伝える為努力いたしますので、村民の皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い致します。文末になります、いつも団員を支えて下さいますご家族の皆様方に衷心より御礼申しあげます。

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会
委員長 杉本 秀明
副委員長 山口 力
委員 出羽 和平
委員 佐藤 定三

編集後記

昨年、広報委員になつてから6回目の「議会だより」の発行となりました。

町村議会広報研修会への参加や他の町村の広報誌を見て研究をし、悪戦苦闘しながら作成しています。

いかに読みやすく、わかりやすいか、またどんな内容がいいかなど、いろいろ、創意工夫しながら作っています。

一人でも多くの人に読んでいただき、感想や意見などいただければ今後の励みになると思っておりますので、よろしくお願い致します。

(山口 力)